

2024. 1. 16 研究成果報告会（センサス分析Ⅱ）

激動する日本農業・農村構造

－2020年農業センサスの総合分析から－

野菜作における 農業経営体の変化と経営展開

農林水産政策研究所

農業・農村領域

小柴 有理江

先行研究

1995年センサス

- 香月（1997）
 - ・上層農家の園芸作シフト
 - ・上層農家の減少と高齢化の併進
 - ・上層農家における雇用型経営の形成

規模の指標：
農業労働
投下規模

2000年センサス

- 香月（2005a）
 - ・1980年代以降の野菜作全体の停滞傾向
 - ・施設園芸作の停滞・後退への変化（香月2005b）
 - ・90年以降の担い手減少と高齢化の併進
 - ・雇用労働力に依存した大規模経営形成の顕在化

2005-2015年センサス

2020年センサスほか

- 澤田（2022）
 - ・施設野菜作における経営継承問題の指摘
- 農畜産業振興機構（2021）—近年の野菜作の動向
 - ・指定野菜の作付面積・出荷量の減少（H2→H30）
 - ・一部の品目（レタス，キャベツ，トマト）は経営規模拡大，施設化・機械化を通じた出荷量の維持

課題と方法

●課題：

- ・ 2005年以降の野菜作（露地野菜作，施設野菜作）の動向とその特徴を明らかにする
- ・ 以前から指摘されてきた野菜作の停滞傾向について，昨今の状況を確認する

●方法：

- ・ 露地野菜，施設野菜のそれぞれの動向と特徴を明らかにするため，「露地野菜販売1位」および「施設野菜販売1位」の経営体をそれぞれ抽出し，主として個票による分析を行った。
- ・ また，規模別の動向を把握するため，指標として販売金額規模を用いた分析を行った。

野菜作の概況①作付経営体数

- 露地野菜：作付経営体数の大幅な減少。とりわけ15～20年では3割の減少
- 施設野菜：作付経営体数は継続的に減少

第8-1表 野菜の作付及び販売金額1位経営体数の推移

		農業経営体 (計)	作付(栽培) 実経営体数	作付経営体数			農産物販売金額1位の経営体数		
				野菜 (実計)	露地野菜	施設野菜	野菜 (計)	露地野菜	施設野菜
実数 (経営体)	2005年	2,009,380	1,652,723	516,200	439,599	147,822	243,075	149,879	93,196
	2010年	1,679,084	1,391,607	442,842	377,003	134,068	229,303	146,207	83,096
	2015年	1,377,266	1,243,507	381,982	330,725	110,983	202,400	131,307	71,093
	2020年	1,075,705	967,187	282,543	231,526	95,761	165,154	104,183	60,971
増減率 (%)	2005-10年	△ 16.4	△ 15.8	△ 14.2	△ 14.2	△ 9.3	△ 5.7	△ 2.4	△ 10.8
	2010-15年	△ 18.0	△ 10.6	△ 13.7	△ 12.3	△ 17.2	△ 11.7	△ 10.2	△ 14.4
	2015-20年	△ 21.9	△ 22.2	△ 26.0	△ 30.0	△ 13.7	△ 18.4	△ 20.7	△ 14.2

資料: 農林業センサス(2005年, 2010年, 2015年, 2020年).

野菜作の概況②作付面積

- 露地野菜：ほぼ維持。05-10年は増加したものの、10年以降は微減
- 施設野菜：作付経営体数の減少に伴い、作付面積も減少傾向

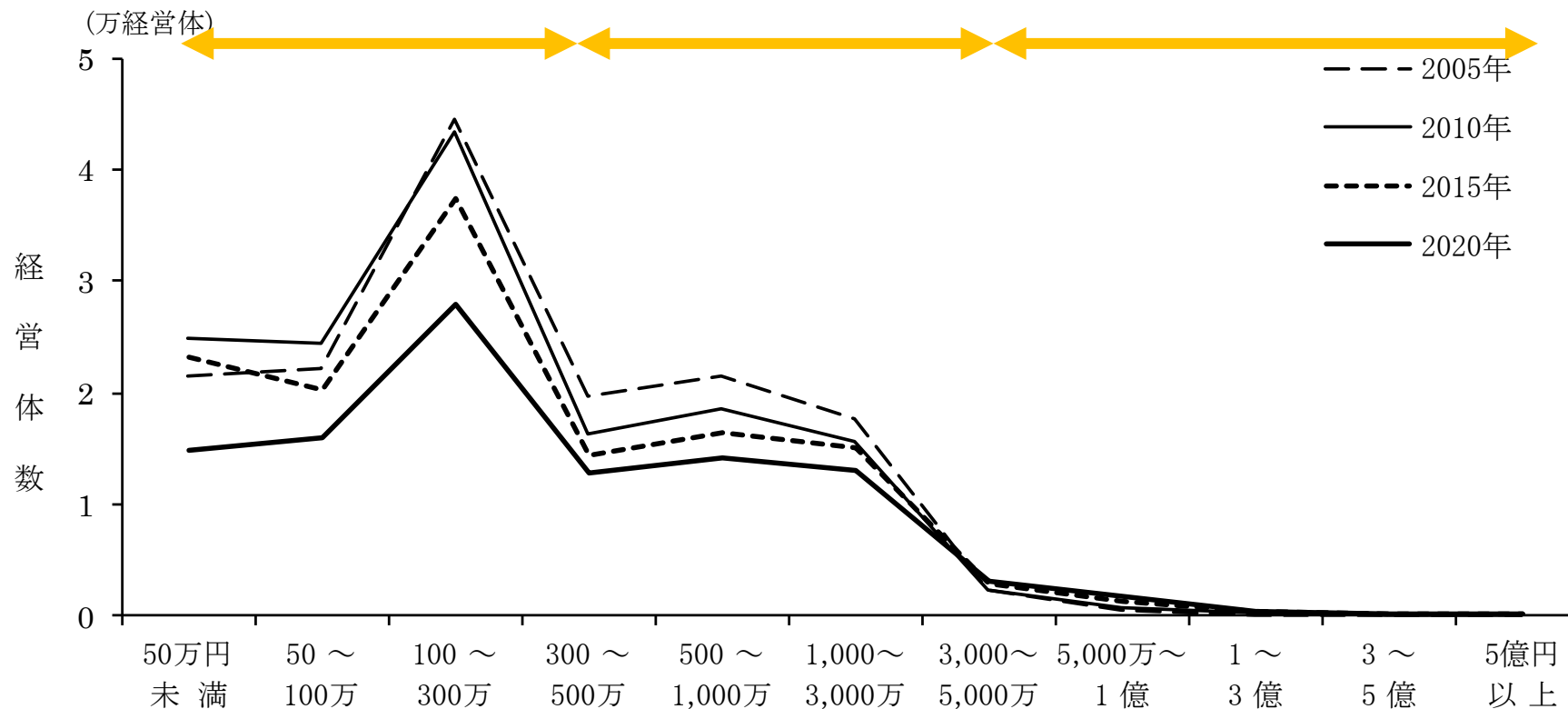
第8-2表 野菜の作付面積の推移

		作付(栽培) 面積計	作付面積			農産物販売金額1位の作付面積		
			野菜計	露地野菜	施設野菜	野菜計	露地野菜	施設野菜
実数 (ha)	2005年	2,428,278	280,672	240,139	40,533	189,209	154,998	34,211
	2010年	2,442,468	289,453	254,634	34,819	196,062	167,145	28,917
	2015年	2,541,209	272,470	239,871	32,600	193,116	165,560	27,556
	2020年	2,562,434	264,734	235,625	29,109	186,623	162,819	23,803
増減率 (%)	2005-10年	0.6	3.1	6.0	△ 14.1	3.6	7.8	△ 15.5
	2010-15年	4.0	△ 5.9	△ 5.8	△ 6.4	△ 1.5	△ 0.9	△ 4.7
	2015-20年	0.8	△ 2.8	△ 1.8	△ 10.7	△ 3.4	△ 1.7	△ 13.6

資料：農林業センサス個票(2005年, 2010年, 2015年, 2020年)の国替集計。

●小規模層の大幅な減少

- ・ 300万円未満層：15～20年に大幅に減少
- ・ 300万～3000万円：大幅ではないものの、いずれの期間も減少
- ・ 3000万円以上層：実数としてはわずかだが、いずれの期間も増加



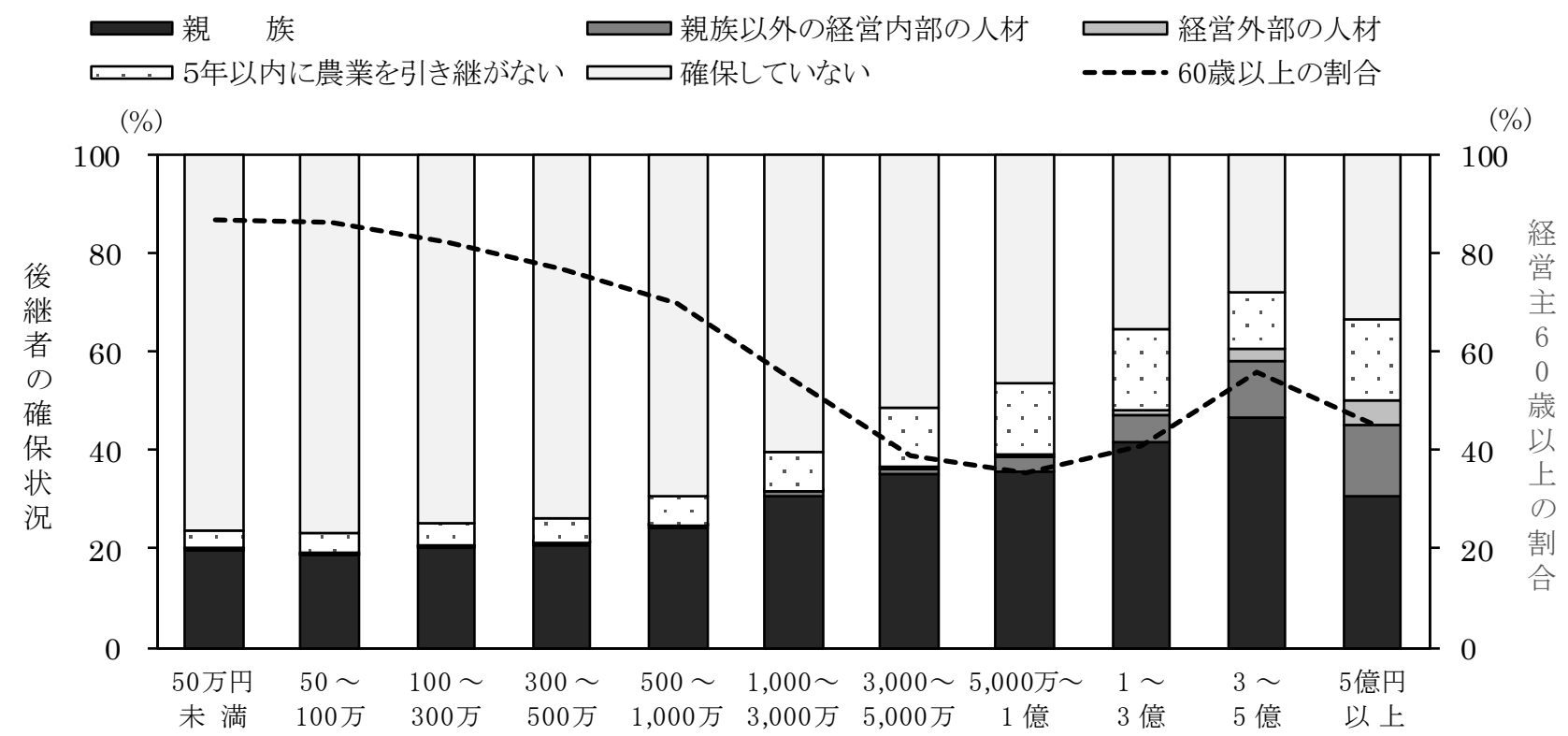
第8-1図 販売金額規模別の経営体数（露地野菜販売1位）

資料：農林業センサス個票（2005年，2010年，2015年，2020年）の組替集計。

担い手の状況：経営主の年齢

●経営主60歳以上の割合

- ・ 300万円未満では60歳以上の割合が8割以上を占める
 - ・ 3000万円以上ではほぼ5割を下回る
- ⇒小規模層の高齢化に伴う減少



第8-4図 経営主60歳以上の割合と農業後継者の確保状況（露地野菜販売1位）

資料：2020年農林業センサス個票の組替集計。

- 作付面積：いずれの期間もほぼ横ばい傾向
→作付経営体数の減少に対し，作付面積は維持

第8-2表 野菜の作付面積の推移（再掲）

		作付(栽培) 面積計	作付面積			農産物販売金額1位の作付面積		
			野菜計	露地野菜	施設野菜	野菜計	露地野菜	施設野菜
実数 (ha)	2005年	2,428,278	280,672	240,139	40,533	189,209	154,998	34,211
	2010年	2,442,468	289,453	254,634	34,819	196,062	167,145	28,917
	2015年	2,541,209	272,470	239,871	32,600	193,116	165,560	27,556
	2020年	2,562,434	264,734	235,625	29,109	186,623	162,819	23,803
増減率 (%)	2005-10年	0.6	3.1	6.0	△ 14.1	3.6	7.8	△ 15.5
	2010-15年	4.0	△ 5.9	△ 5.8	△ 6.4	△ 1.5	△ 0.9	△ 4.7
	2015-20年	0.8	△ 2.8	△ 1.8	△ 10.7	△ 3.4	△ 1.7	△ 13.6

資料：農林業センサス個票(2005年, 2010年, 2015年, 2020年)の国替集計.

担い手の状況：組織形態

- 全体：ほとんどが個人経営体（2020年：97.3%）であり、大きな変化はない
- 販売金額3,000万円以上層では、法人化した組織経営体の割合がわずかに上昇しているものの、依然として個人経営体が主。

第8－3表 組織形態別の経営体数割合（露地野菜販売1位）

	販売金額1位部門が露地野菜（計）				販売金額が3,000万円以上			
	2005年	2010年	2015年	2020年	2005年	2010年	2015年	2020年
計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
個人経営体（非法人の家族経営体）	99.4%	99.0%	98.2%	97.3%	87.4%	81.2%	80.0%	76.9%
一戸一法人	0.3%	0.3%	0.4%	0.7%	6.0%	6.2%	5.8%	7.3%
団体経営体 法人化した組織経営体	0.3%	0.6%	1.3%	1.9%	5.9%	12.0%	13.9%	15.6%
非法人の組織経営体	0.1%	0.1%	0.1%	0.1%	0.7%	0.6%	0.3%	0.2%

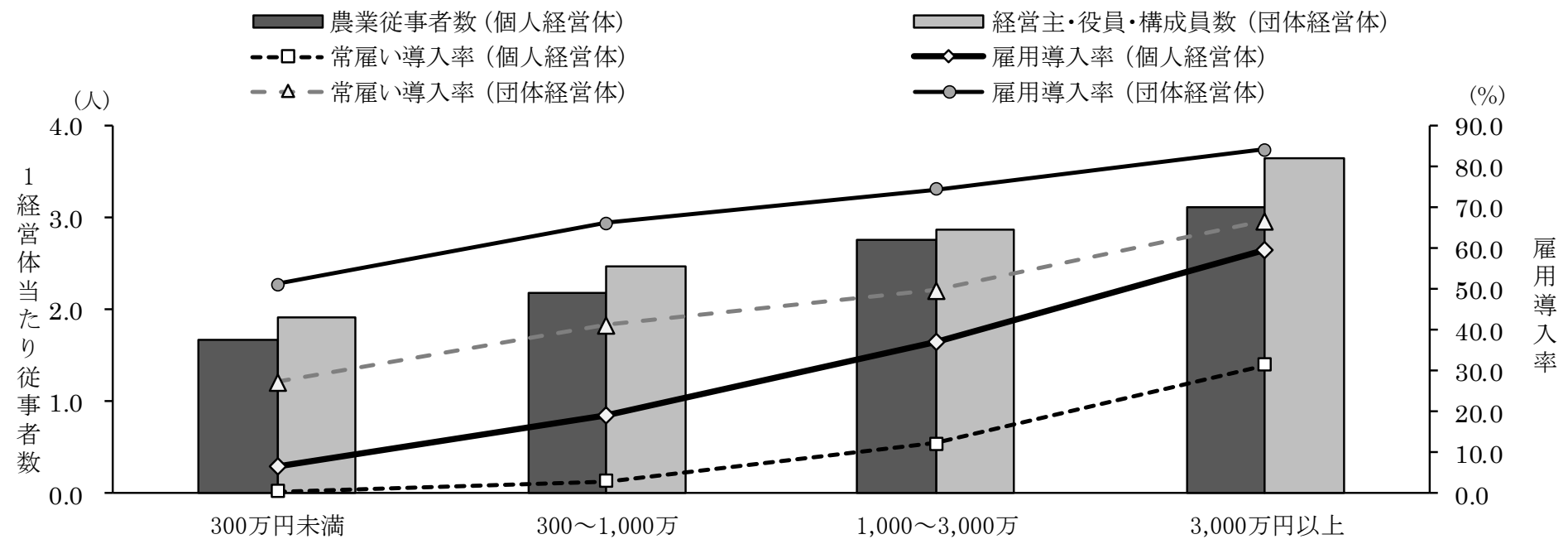
資料：農林業センサス個票（2005年，2010年，2015年，2020年）の組替集計。

担い手の状況：農業従事者数と雇用導入率

●雇用導入率：個人経営体 < 団体経営体

●常雇導入率

- ・個人経営体：1,000万円以上層で上昇するも、3,000万円以上層でも3割にとどまる
- ・団体経営体：300万円未満層でも3割程度、3,000万円以上層では7割を超える



第8-3図 農業従事者数と雇用導入率（露地野菜販売1位）

資料：2020農林業センサス個票の組替集計。

- 注(1) 農業従事者数及び経営主・役員・構成員数はいずれも年間60日以上の数。
 (2) 「雇用導入率」は、(常雇い又は臨時雇い導入経営体数) / 総経営体数 × 100。
 (3) 農業生産関連事業を除く値である。

複合化の状況

- 「2位部門無し」 (露地野菜作に特化) : 100万円未満層および1億円以上層で4割を超える
5億円以上層でも6割弱。高販売額層でも半数程度は複合化。
- 主な2位部門
 - ・ 3000万円未満層 : 「水稻・陸稻」が3~4割
 - ・ 3000万円以上層 : 「水稻・陸稻」, 「雑穀・いも類・豆類」, 「施設野菜」が各1~2割程度

第8-5表 農産物販売金額2位部門の割合 (露地野菜販売1位)

	計	2位部門 なし	水稻・ 陸稻	麦類	雑穀・ いも類・ 豆類	工芸 農作物	施設 野菜	果樹類	花き・ 花木	その他 の作物	畜産
50万円未満	100.0%	57.7%	19.1%	0.2%	8.8%	0.8%	2.7%	7.2%	2.0%	1.3%	0.1%
50~100万	100.0%	43.4%	32.5%	0.2%	8.0%	0.9%	4.7%	6.6%	2.3%	1.2%	0.3%
100~300万	100.0%	36.0%	38.5%	0.3%	6.8%	1.0%	7.6%	5.9%	2.2%	1.4%	0.4%
300~500万	100.0%	34.5%	38.8%	0.3%	6.3%	0.9%	10.5%	4.9%	1.7%	1.3%	0.8%
500~1,000万	100.0%	35.0%	36.5%	0.8%	6.0%	1.2%	13.0%	3.9%	1.3%	1.4%	0.8%
1,000~3,000万	100.0%	38.1%	30.2%	2.2%	7.5%	2.0%	13.9%	2.7%	1.1%	1.6%	0.9%
3,000~5,000万	100.0%	39.3%	18.2%	6.7%	13.7%	5.1%	12.8%	1.3%	0.7%	1.5%	0.7%
5,000万~1億	100.0%	37.4%	15.3%	8.4%	15.5%	5.1%	13.9%	1.1%	0.8%	1.8%	0.9%
1~3億	100.0%	42.0%	12.2%	3.6%	15.8%	3.4%	17.2%	0.9%	1.1%	2.5%	1.4%
3~5億	100.0%	48.8%	9.3%	2.3%	16.3%	4.7%	11.6%	0.0%	4.7%	2.3%	0.0%
5億円以上	100.0%	57.1%	9.5%	0.0%	2.4%	2.4%	19.0%	2.4%	0.0%	2.4%	4.8%

資料:2020年農林業センサス個票の組替集計。

品目別の動向 (15-20年)

※各品目について露地での作付のみを集計

第8-6表 品目別の作付面積 (露地野菜販売1位)

(単位:ha, %)

※根菜類, 葉茎菜類に着目

●作付面積: 全体として減少傾向
増加はキャベツ, レタス, ブロッコリー

●作付面積 (根菜類・葉茎菜類)
「300万円未満」層: いずれも減少
「300~3,000万円」: ブロッコリーのみ増
「3,000万円以上」: さといもを除き増加

●作付面積シェア (根菜類・葉茎菜類)
「300~3,000万円」: はくさい, たまねぎ以外
でシェア4割超
「3,000万円以上」: さといも, ほうれんそう,
ねぎ, ブロッコリーを除き
シェア4割超

●作付面積の増加率
面積シェア } ともに高い
: はくさい, キャベツ, レタス

大規模層による作付の集中が進展している
可能性

		作付面積		作付面積増減率 (2015-20年)				作付面積シェア (2020年)			
		2015年	2020年	計	販売額が 300万円 未 満	販売額が 300 ~ 3,000万円	販売額が 3,000万 円 以上	計	販売額が 300万円 未 満	販売額が 300 ~ 3,000万円	販売額が 3,000万 円 以上
根菜類	だいこん	15,371	13,239	△ 13.9	△ 34.8	△ 25.5	6.5	100.0	9.0	41.8	49.2
	にんじん	10,476	9,068	△ 13.4	△ 35.2	△ 22.5	9.1	100.0	8.6	49.6	41.9
	さといも	2,917	2,022	△ 30.7	△ 39.2	△ 26.5	△ 10.5	100.0	40.2	46.6	13.2
	やまのいも	4,919	4,312	△ 12.3	△ 38.1	△ 23.9	10.3	100.0	6.1	47.0	46.9
葉茎類	はくさい	8,460	8,366	△ 1.1	△ 33.3	△ 19.1	30.5	100.0	9.7	37.0	53.2
	キャベツ	21,798	22,093	1.4	△ 24.7	△ 10.7	33.5	100.0	8.1	51.5	40.4
	ほうれんそう	7,232	5,713	△ 21.0	△ 39.3	△ 25.3	19.6	100.0	24.1	46.7	29.2
	レタス	13,245	13,804	4.2	△ 22.5	△ 10.8	32.3	100.0	4.5	49.1	46.4
	ねぎ	8,857	8,819	△ 0.4	△ 30.8	△ 7.0	72.1	100.0	19.2	52.0	28.7
	たまねぎ	18,831	18,355	△ 2.5	△ 17.8	△ 23.8	29.1	100.0	9.9	38.6	51.5
	ブロッコリー	8,581	11,237	30.9	△ 9.3	21.8	100.1	100.0	15.0	54.1	31.0
果菜類	きゅうり	1,337	990	△ 25.9	△ 30.1	△ 24.0	12.6	100.0	46.6	49.1	4.3
	なす	1,507	1,380	△ 8.4	△ 19.9	△ 0.2	35.3	100.0	44.8	47.6	7.6
	トマト	1,065	833	△ 21.8	△ 38.3	△ 18.6	49.1	100.0	36.1	47.6	16.3
	ピーマン	518	430	△ 16.9	△ 22.1	△ 2.9	△ 38.4	100.0	60.4	36.2	3.4
果実的野菜	いちご	178	85	△ 52.1	△ 56.7	△ 50.9	△ 32.2	100.0	37.7	53.2	9.1
	メロン	1,053	822	△ 22.0	△ 49.6	△ 23.6	18.1	100.0	8.3	73.8	17.9
	すいか	3,213	2,590	△ 19.4	△ 41.9	△ 21.9	28.7	100.0	10.7	72.0	17.3
その他の野菜		36,000	38,660	7.4	△ 7.5	△ 0.0	40.5	100.0	19.7	50.8	29.5

資料: 農林業センサス個票(2015年, 2020年)の組替集計.

注(1) 農産物販売金額の1位部門が露地野菜の農業経営体による作付のみを集計したものである.

(2) 作付面積シェアが40%以上のものを網掛けした.

経営展開：付加価値形成（生産関連事業）

第8-7表 農産物販売金額規模別の農業生産関連事業実施経営体割合（露地野菜販売1位）

	農産物の加工		小売業		観光農園		貸農園・体験農園など		農家民宿	
	2015年	2020年	2015年	2020年	2015年	2020年	2015年	2020年	2015年	2020年
50万円未満	1.6%	3.0%	-	9.1%	0.1%	0.2%	0.5%	0.4%	0.2%	0.1%
50～100万	2.5%	3.5%	-	8.6%	0.1%	0.2%	0.5%	0.3%	0.2%	0.2%
100～300万	2.9%	3.7%	-	7.9%	0.2%	0.3%	0.5%	0.5%	0.1%	0.1%
300～500万	3.5%	4.0%	-	6.5%	0.4%	0.4%	0.7%	0.3%	0.2%	0.1%
500～1,000万	3.3%	3.6%	-	5.3%	0.5%	0.4%	0.7%	0.4%	0.1%	0.1%
1,000～3,000万	3.2%	3.6%	-	4.8%	0.6%	0.4%	0.7%	0.4%	0.2%	0.1%
3,000～5,000万	3.5%	4.3%	-	4.6%	0.6%	0.5%	0.6%	0.3%	0.2%	0.1%
5,000万～1億	7.7%	6.1%	-	6.4%	1.4%	0.8%	1.1%	0.4%	0.5%	0.3%
1～3億	17.0%	12.2%	-	8.6%	1.4%	0.7%	1.1%	0.0%	0.7%	0.2%
3～5億	25.8%	23.3%	-	20.9%	0.0%	2.3%	3.2%	0.0%	0.0%	0.0%
5億円以上	40.7%	33.3%	-	16.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

●全体の実施率

- ・2015年：各層9割以上が売上なし
1億円を超えると実施率が高まる
- ・2020年：5億円未満層で実施率がやや上昇
5億円以上層では低下

●生産関連事業の主な種類（高販売額層）

- ・農産物の加工
- ・小売業
- ・海外への輸出

※ただし実施率は低下傾向

	農家レストラン		海外への輸出		再生可能エネルギー発電		その他		農業生産関連事業売上なし	
	2015年	2020年	2015年	2020年	2015年	2020年	2015年	2020年	2015年	2020年
50万円未満	0.1%	0.2%	0.0%	0.0%	-	0.1%	0.3%	1.0%	97.6%	87.5%
50～100万	0.1%	0.2%	0.0%	0.0%	-	0.1%	0.4%	1.2%	96.7%	87.7%
100～300万	0.1%	0.1%	0.0%	0.0%	-	0.1%	0.4%	1.1%	96.4%	88.4%
300～500万	0.1%	0.1%	0.0%	0.0%	-	0.2%	0.3%	0.9%	95.7%	89.6%
500～1,000万	0.1%	0.1%	0.0%	0.0%	-	0.2%	0.4%	0.9%	95.8%	90.8%
1,000～3,000万	0.2%	0.2%	0.0%	0.1%	-	0.2%	0.4%	0.6%	95.9%	91.7%
3,000～5,000万	0.1%	0.2%	0.2%	0.1%	-	0.3%	0.7%	0.9%	95.6%	91.1%
5,000万～1億	0.3%	0.4%	0.4%	0.2%	-	0.4%	1.8%	1.2%	90.3%	88.0%
1～3億	1.4%	0.5%	2.1%	0.7%	-	0.7%	2.5%	1.1%	80.5%	80.6%
3～5億	3.2%	0.0%	3.2%	2.3%	-	0.0%	0.0%	4.7%	74.2%	60.5%
5億円以上	0.0%	0.0%	11.1%	4.8%	-	0.0%	22.2%	2.4%	40.7%	59.5%

資料：農林業センサス個票（2015年、2020年）の組替集計。

注：2015年の「農業生産関連事業売上なし」は、「農業生産関連事業を行っていない」と「売上金額なし」の合計値である。

経営展開：出荷先（複数回答）※野菜以外の出荷先を含む

- 全体では農協，卸売市場，消費者への直接販売が主
- 大規模層（1億円以上層）では出荷先が分散：卸売市場，小売業者，食品製造業・外食産業

第8－8表 農産物の出荷先（露地野菜販売1位）

	全 体（複数回答）													
	農 協		農協以外の 集出荷団体		卸売市場		小売業者		食品製造業・ 外食産業		消費者への 直接販売		そ の 他	
	2015年	2020年	2015年	2020年	2015年	2020年	2015年	2020年	2015年	2020年	2015年	2020年	2015年	2020年
50万円未満	48.0%	45.4%	9.4%	9.9%	18.4%	15.6%	6.8%	7.9%	1.9%	2.9%	34.4%	39.3%	6.4%	7.4%
50～100万	60.6%	58.1%	10.2%	12.2%	20.0%	18.0%	7.8%	9.3%	2.1%	3.2%	32.0%	35.2%	5.4%	5.0%
100～300万	67.0%	65.5%	11.4%	13.6%	24.2%	21.0%	8.5%	11.2%	2.5%	4.1%	28.7%	33.7%	5.5%	5.0%
300～500万	70.5%	69.8%	14.1%	15.8%	28.0%	25.0%	9.7%	12.7%	3.3%	5.0%	25.1%	28.9%	5.7%	4.8%
500～1,000万	72.9%	72.8%	16.7%	18.8%	31.5%	28.7%	10.4%	13.9%	4.1%	5.9%	21.5%	25.2%	5.4%	4.9%
1,000～3,000万	77.4%	77.5%	20.6%	23.1%	30.8%	29.6%	11.6%	13.9%	5.7%	7.6%	16.8%	19.7%	4.6%	4.3%
3,000～5,000万	82.0%	81.7%	27.0%	26.6%	23.7%	24.7%	12.9%	14.9%	8.1%	10.3%	13.4%	15.6%	3.4%	3.9%
5,000万～1億	74.3%	75.7%	28.0%	30.7%	29.0%	29.5%	20.4%	21.1%	16.5%	18.1%	14.0%	17.5%	4.6%	4.9%
1～3億	52.5%	57.8%	28.7%	30.0%	47.9%	45.4%	34.8%	34.8%	36.9%	37.7%	23.4%	26.0%	6.4%	5.9%
3～5億	29.0%	37.2%	22.6%	27.9%	61.3%	62.8%	32.3%	44.2%	45.2%	60.5%	29.0%	27.9%	9.7%	7.0%
5億円以上	11.1%	23.8%	14.8%	33.3%	63.0%	61.9%	66.7%	52.4%	59.3%	57.1%	37.0%	23.8%	25.9%	28.6%

第8-8表 農産物の出荷先（露地野菜販売1位）（つづき）

	売上1位の出荷先													
	農協		農協以外の集出荷団体		卸売市場		小売業者		食品製造業・ 外食産業		消費者への 直接販売		その他	
	2015年	2020年	2015年	2020年	2015年	2020年	2015年	2020年	2015年	2020年	2015年	2020年	2015年	2020年
50万円未満	40.7%	39.1%	7.1%	7.2%	15.4%	12.9%	4.5%	5.3%	1.1%	1.2%	27.7%	29.9%	3.5%	4.5%
50～100万	49.3%	47.8%	6.9%	7.9%	14.8%	12.9%	4.1%	5.2%	0.9%	1.0%	22.2%	23.2%	1.8%	1.9%
100～300万	53.9%	52.1%	6.9%	7.9%	16.3%	13.5%	3.7%	5.1%	0.9%	1.0%	16.7%	19.0%	1.6%	1.3%
300～500万	57.4%	56.1%	7.9%	8.5%	17.8%	15.3%	3.6%	5.3%	1.0%	1.1%	11.0%	12.5%	1.2%	1.2%
500～1,000万	58.9%	58.5%	8.9%	9.7%	19.1%	16.2%	3.5%	4.8%	1.4%	1.5%	7.2%	8.0%	1.0%	1.2%
1,000～3,000万	64.4%	63.9%	10.4%	11.0%	15.9%	14.4%	3.5%	4.2%	1.8%	2.0%	3.1%	3.6%	0.8%	1.0%
3,000～5,000万	70.8%	69.0%	11.2%	11.0%	10.1%	10.2%	3.6%	4.5%	2.3%	2.9%	1.5%	1.3%	0.6%	1.1%
5,000万～1億	60.5%	60.9%	13.0%	12.6%	11.7%	11.9%	6.2%	6.3%	5.6%	5.1%	1.7%	1.6%	1.4%	1.7%
1～3億	33.3%	36.3%	13.8%	14.4%	23.0%	19.6%	12.1%	10.8%	14.5%	13.5%	1.4%	2.3%	1.8%	2.9%
3～5億	9.7%	14.0%	12.9%	16.3%	29.0%	20.9%	9.7%	20.9%	16.1%	20.9%	16.1%	7.0%	6.5%	0.0%
5億円以上	0.0%	7.1%	0.0%	7.1%	29.6%	28.6%	40.7%	21.4%	14.8%	23.8%	0.0%	0.0%	14.8%	11.9%

- 1億円未満：農協が主
- 1～5億円：分散
- 5億円以上：卸売市場、
小売業者、
食品製造業
・外食産業
が各2～3割

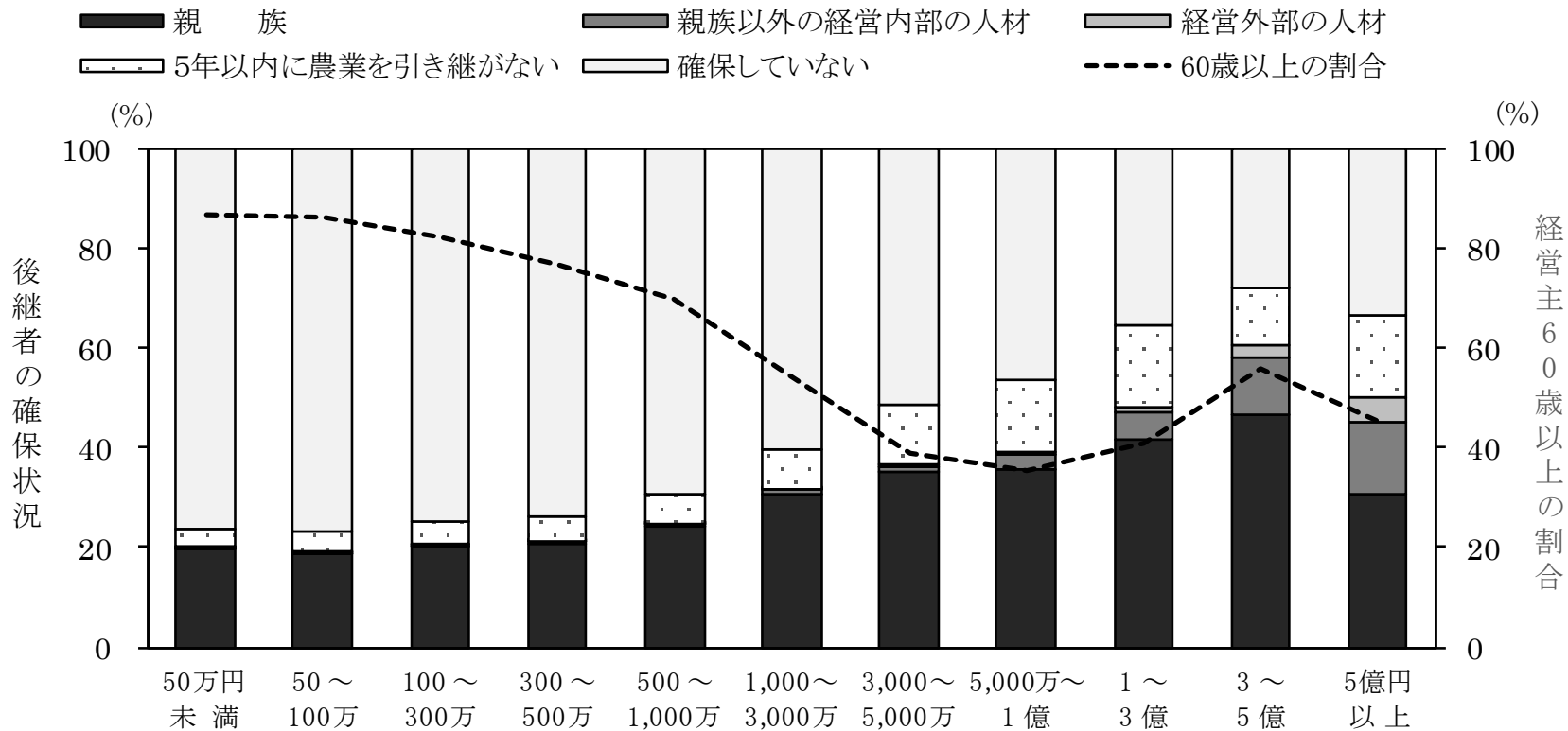
資料：農林業センサス個票（2015年，2020年）の組替集計。

注．2020年の割合が2015年に比べ10ポイント以上上昇又は低下したものに網掛けした。

後継者の確保状況

●後継者の確保状況

- ・後継者を確保していない：3000万～1億円未満の半分程度
1億円以上の3割程度

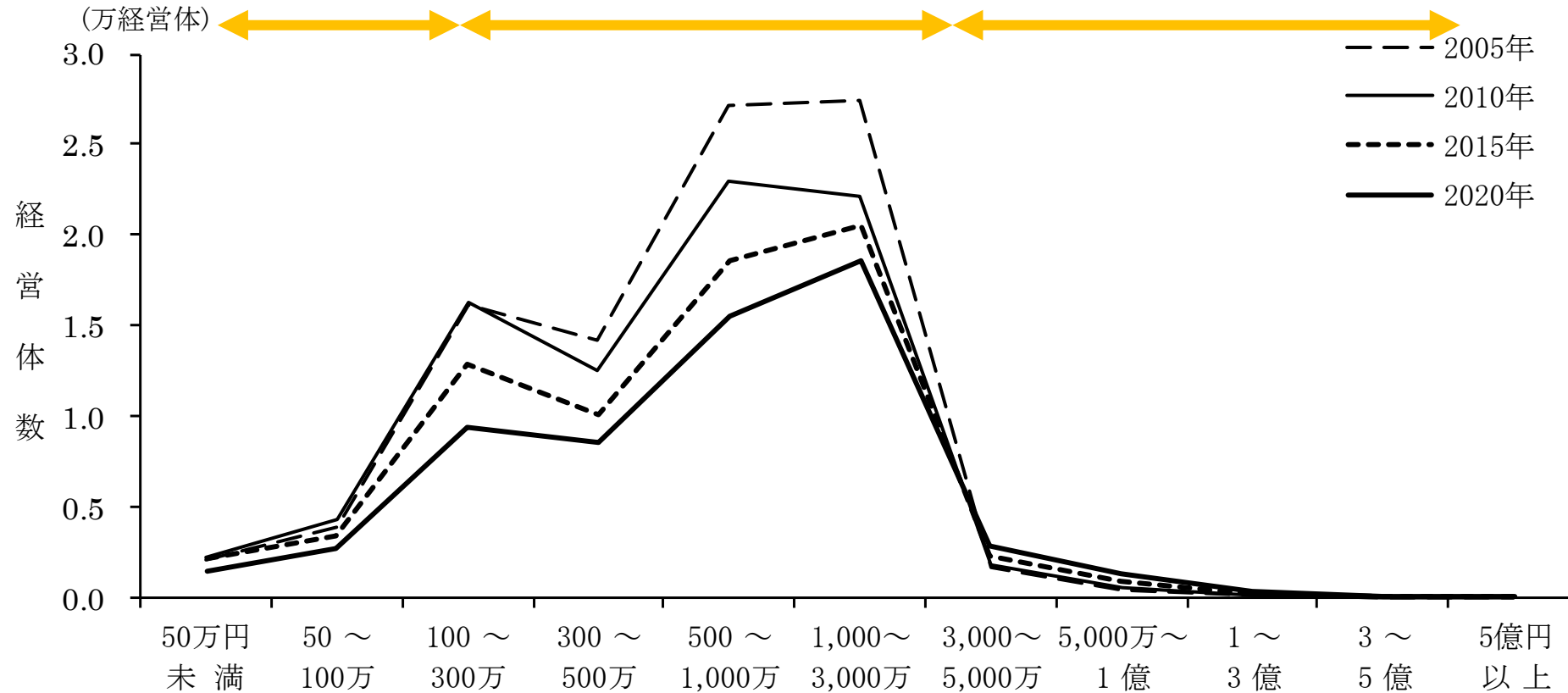


第8-4図 経営主60歳以上の割合と農業後継者の確保状況（露地野菜販売1位）（再掲）

資料：2020年農林業センサス個票の組替集計。

● 中小規模層の減少

- ・ 100万円～3,000万円未満層：2005～2020年にかけて3割を超える減少
- ・ 3000万円以上層：実数としてはわずかだが、いずれの期間も増加



第8-5図 販売金額規模別の経営体数 (施設野菜販売1位)

資料: 農林業センサス個票 (2005年, 2010年, 2015年, 2020年) の組替集計.

●作付面積：減少傾向

10～15年に一旦弱まるも15～20年に再び減少率強まる

第8-2表 野菜の作付面積の推移（再掲）

		作付(栽培) 面積計	作付面積			農産物販売金額1位の作付面積		
			野菜計	露地野菜	施設野菜	野菜計	露地野菜	施設野菜
実数 (ha)	2005年	2,428,278	280,672	240,139	40,533	189,209	154,998	34,211
	2010年	2,442,468	289,453	254,634	34,819	196,062	167,145	28,917
	2015年	2,541,209	272,470	239,871	32,600	193,116	165,560	27,556
	2020年	2,562,434	264,734	235,625	29,109	186,623	162,819	23,803
増減率 (%)	2005-10年	0.6	3.1	6.0	△14.1	3.6	7.8	△15.5
	2010-15年	4.0	△5.9	△5.8	△6.4	△1.5	△0.9	△4.7
	2015-20年	0.8	△2.8	△1.8	△10.7	△3.4	△1.7	△13.6

資料：農林業センサス個票(2005年, 2010年, 2015年, 2020年)の国替集計。

利用実面積の変化

●利用実面積：いずれの期間も減少，減少度合いは加速

→作付経営体数の減少に伴い，作付面積，利用実面積も併進的に減少

第8-9表 ハウス・ガラス室の利用実面積（施設野菜販売1位）

利用実面積 (ha)				増減率 (%)		
2005年	2010年	2015年	2020年	2005-10年	2010-15年	2015-20年
26,494	25,230	22,504	18,950	△ 4.8	△ 10.8	△ 15.8

資料：農林業センサス個票（2005年，2010年，2015年，2020年）の組替集計。

- 全体：ほとんどが個人経営体（2020年：96.0%）であり、大きな変化はない
- 販売金額3,000万円以上層：
 - ・団体経営体の中でも法人化した組織経営体が2割程度を占めるようになる
 - ・ただし2010年以降その割合に大きな変化はない

第8－10表 組織形態別の経営体数割合（施設野菜販売1位）

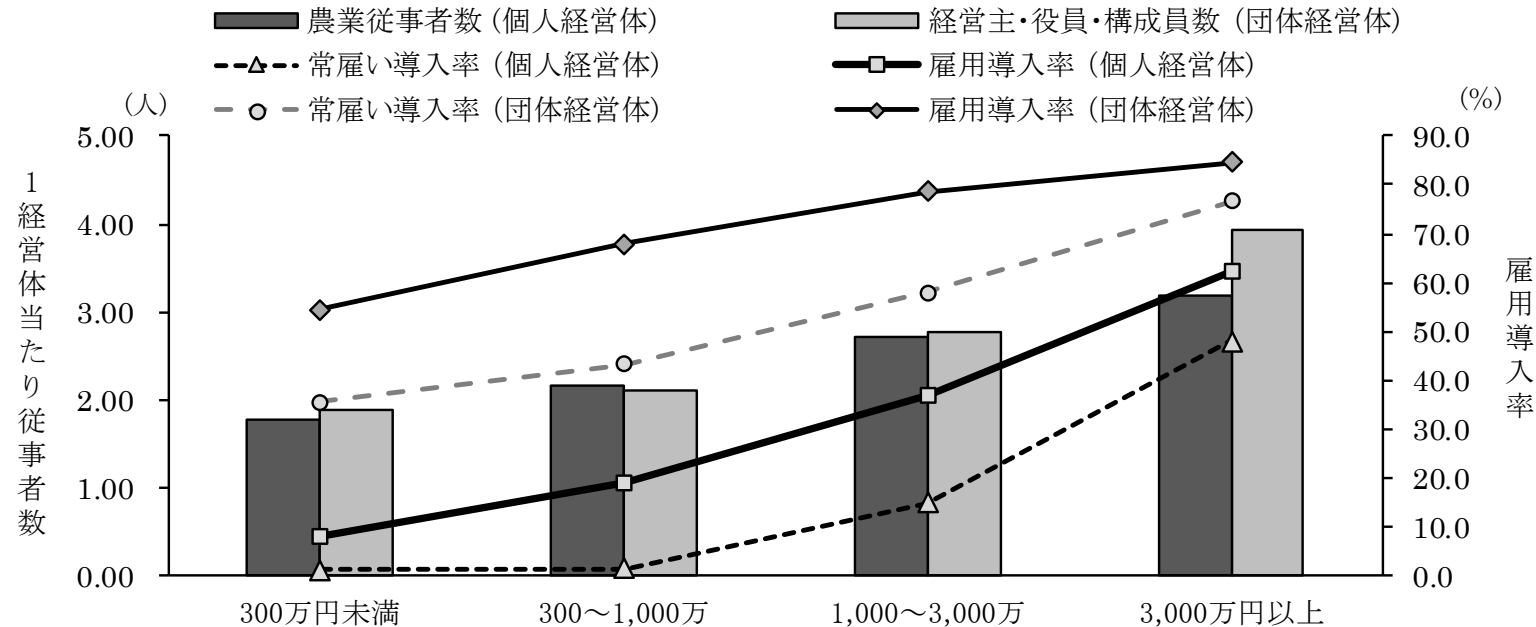
	販売金額1位部門が露地野菜（計）				販売金額が3,000万円以上			
	2005年	2010年	2015年	2020年	2005年	2010年	2015年	2020年
計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
個人経営体（非法人の家族経営体）	98.7%	98.2%	97.2%	96.0%	74.6%	72.8%	74.0%	72.7%
団体経営体								
一戸一法人	0.4%	0.4%	0.4%	0.9%	8.3%	6.2%	4.1%	5.9%
法人化した組織経営体	0.7%	1.2%	2.2%	3.0%	16.1%	20.1%	21.5%	21.0%
非法人の組織経営体	0.1%	0.2%	0.1%	0.1%	1.0%	0.9%	0.5%	0.3%

資料：農林業センサス個票（2005年，2010年，2015年，2020年）の組替集計。

●雇用導入率：個人経営体＜団体経営体

●常雇導入率

- ・個人経営体：1,000万円以上層では1割，3,000万円以上層では5割近くに急上昇
- ・団体経営体：300万円未満層でも3割程度，3,000万円以上層では7割を超える



第8-7図 農業従事者数と雇用導入率（施設野菜販売1位）

資料：2020農林業センサス個票の組替集計。

注(1) 農業従事者数及び経営主・役員・構成員数はいずれも年間60日以上の数。

(2) 「雇用導入率」は、(常雇い又は臨時雇い導入経営体数)／総経営体数×100。

(3) 農業生産関連事業を除く値である。

- 「2位部門無し」 (施設野菜作に特化) : 1億円以上層で6割を超える
1億円未満層では3~5割
- 主な2位部門
 - ・ 水稻：とりわけ1億円未満層
 - ・ 露地野菜：販売金額層による大きな差はない

第8-12表 農産物販売金額2位部門の割合 (施設野菜販売1位)

	計	2位部門 なし	水稻・ 陸稲	麦類	雑穀・ いも類・ 豆類	工芸 農作物	露地 野菜	果樹類	花き・ 花木	その他 の作物	畜産
50万円未満	100.0%	48.9%	18.9%	0.0%	3.0%	0.5%	22.9%	3.7%	1.1%	0.9%	0.1%
50~100万	100.0%	37.7%	26.7%	0.2%	2.8%	1.0%	25.4%	3.4%	1.4%	1.0%	0.3%
100~300万	100.0%	32.4%	31.5%	0.3%	1.6%	0.9%	26.2%	4.3%	1.3%	1.1%	0.3%
300~500万	100.0%	32.2%	35.0%	0.4%	1.3%	0.6%	23.3%	4.6%	1.2%	0.9%	0.5%
500~1,000万	100.0%	32.1%	38.7%	0.5%	1.5%	0.6%	20.2%	3.9%	1.0%	0.9%	0.5%
1,000~3,000万	100.0%	34.6%	39.0%	0.8%	1.4%	0.5%	17.2%	3.8%	1.0%	1.0%	0.6%
3,000~5,000万	100.0%	41.5%	32.5%	1.1%	1.6%	0.6%	17.6%	2.3%	0.7%	1.4%	0.7%
5,000万~1億	100.0%	48.2%	24.1%	0.6%	1.2%	0.2%	20.3%	2.9%	0.8%	1.5%	0.2%
1~3億	100.0%	61.8%	12.6%	0.3%	0.0%	0.0%	20.9%	2.7%	1.1%	0.5%	0.3%
3~5億	100.0%	60.4%	6.3%	0.0%	0.0%	0.0%	20.8%	4.2%	4.2%	2.1%	2.1%
5億円以上	100.0%	72.7%	0.0%	0.0%	1.5%	0.0%	15.2%	4.5%	1.5%	4.5%	0.0%

資料:2020年農林業センサス個票の組替集計。

第8-13表 品目別の作付面積（施設野菜販売1位）

（単位：ha，%）

※葉茎菜類のほうれんそう，レタス，ねぎ，および果菜類，果実的野菜に着目

●作付面積

- 「全体」：レタスを除き減少
- 「300万円未満」：いずれも減少
- 「300～3,000万円未満」：いずれも減少
- 「3,000万円以上」：ピーマンを除き増加

●作付面積シェア

- 「300～3,000万円未満」：いずれの品目もシェア4割超
- 「3,000万円以上」：4割超はレタス，ねぎのみ

●作付面積の増加率
面積シェア

：レタス，ねぎのみ

} ともに高い

中規模層による栽培が主
施設栽培の規模拡大の難しさがうかがえる

		作付面積		作付面積増減率（2015-20年）				作付面積シェア（2020年）			
		2015年	2020年	計	販売額が 300万円 未 満	販売額が 300～ 3,000万円	販売額が 3,000万 円 以上	計	販売額が 300万円 未 満	販売額が 300～ 3,000万円	販売額が 3,000万 円 以上
根菜類	だいこん	328	58	△ 82.2	△ 82.0	△ 81.2	△ 87.8	100.0	15.9	75.0	9.1
	にんじん	30	51	70.1	△ 7.5	57.5	446.2	100.0	9.3	71.1	19.6
	さといも	6	4	△ 31.8	△ 5.5	△ 21.4	△ 84.7	100.0	35.1	59.8	5.1
	やまのいも	1	1	9.7	△ 34.7	21.1	0.0	100.0	12.2	87.8	0.0
葉茎菜類	はくさい	69	59	△ 13.6	△ 20.5	△ 16.1	39.6	100.0	12.9	78.1	9.0
	キャベツ	39	40	4.5	3.5	11.2	△ 20.9	100.0	23.1	65.3	11.6
	ほうれんそう	2,556	2,082	△ 18.5	△ 35.3	△ 21.9	1.7	100.0	12.3	58.9	28.8
	レタス	369	393	6.5	△ 9.0	△ 12.2	42.8	100.0	5.5	49.4	45.1
	ねぎ	856	844	△ 1.4	△ 30.1	△ 18.6	39.1	100.0	6.2	49.3	44.5
	たまねぎ	14	20	45.3	10.0	△ 5.2	1025.1	100.0	23.3	42.3	34.4
	ブロッコリー	40	58	46.1	1.6	10.1	2151.8	100.0	14.9	57.9	27.2
果菜類	きゅうり	2,457	2,197	△ 10.6	△ 17.9	△ 14.3	44.7	100.0	7.4	81.5	11.0
	なす	897	772	△ 14.0	△ 30.8	△ 15.2	27.3	100.0	6.6	84.7	8.7
	トマト	5,269	4,746	△ 9.9	△ 17.8	△ 18.5	18.8	100.0	6.6	63.1	30.3
	ピーマン	929	708	△ 23.9	△ 33.6	△ 26.5	△ 3.8	100.0	8.9	72.5	18.6
果実的野菜	いちご	3,423	2,878	△ 15.9	△ 40.9	△ 19.1	32.3	100.0	6.4	77.8	15.8
	メロン	2,288	1,752	△ 23.4	△ 36.8	△ 29.1	3.8	100.0	4.0	70.9	25.0
	すいか	1,322	1,010	△ 23.6	△ 38.4	△ 27.9	71.8	100.0	5.5	83.3	11.2
その他の野菜		6,664	6,130	△ 8.0	△ 20.2	△ 13.0	3.7	100.0	9.4	51.5	39.1

資料：農林業センサス個票（2015年，2020年）の組替集計。

注（1）農産物販売金額の1位部門が施設野菜の農業経営体による作付のみを集計したものである。

（2）作付面積シェアが40%以上のものを網掛けした。

経営展開：付加価値形成（生産関連事業）

第8-14表 農産物販売金額規模別の農業生産関連事業実施経営体割合（施設野菜販売1位）

	農産物の加工		小売業		観光農園		貸農園・体験農園など		農家民宿	
	2015年	2020年	2015年	2020年	2015年	2020年	2015年	2020年	2015年	2020年
50万円未満	1.8%	3.0%	-	7.8%	0.5%	0.3%	0.3%	0.2%	0.2%	0.3%
50～100万	2.5%	2.9%	-	7.2%	0.6%	0.4%	0.1%	0.2%	0.4%	0.2%
100～300万	2.2%	3.0%	-	5.8%	0.7%	0.6%	0.3%	0.2%	0.2%	0.1%
300～500万	2.2%	2.2%	-	5.7%	0.9%	0.8%	0.4%	0.2%	0.2%	0.1%
500～1,000万	2.5%	2.4%	-	5.4%	1.1%	1.3%	0.4%	0.2%	0.1%	0.1%
1,000～3,000万	2.3%	2.2%	-	4.7%	1.7%	1.6%	0.5%	0.2%	0.2%	0.1%
3,000～5,000万	4.5%	3.7%	-	6.5%	2.7%	2.7%	0.6%	0.2%	0.4%	0.0%
5,000万～1億	8.6%	7.2%	-	8.3%	3.7%	3.9%	0.8%	0.5%	0.2%	0.0%
1～3億	20.0%	11.5%	-	13.4%	6.0%	6.4%	3.6%	0.0%	0.0%	0.0%
3～5億	12.2%	22.9%	-	16.7%	2.0%	4.2%	2.0%	0.0%	0.0%	0.0%
5億円以上	22.2%	13.6%	-	13.6%	3.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

●全体の実施率（15年，20年共通）

- ・1億円を上回ると実施率がやや高くなる
ただし3～4割程度

●生産関連事業の主な種類（高販売額層）

- ・農産物の加工
- ・小売業
- ・観光農園（1～5億円層）

	農家レストラン		海外への輸出		再生可能エネルギー発電		その他		農業生産関連事業売上なし	
	2015年	2020年	2015年	2020年	2015年	2020年	2015年	2020年	2015年	2020年
50万円未満	0.0%	0.1%	0.0%	0.0%	-	0.1%	0.5%	1.0%	97.5%	88.8%
50～100万	0.1%	0.2%	0.0%	0.0%	-	0.1%	0.4%	0.8%	96.4%	90.0%
100～300万	0.1%	0.1%	0.0%	0.0%	-	0.2%	0.3%	1.0%	96.7%	90.8%
300～500万	0.1%	0.1%	0.0%	0.0%	-	0.1%	0.3%	0.8%	96.5%	91.6%
500～1,000万	0.0%	0.1%	0.0%	0.0%	-	0.2%	0.3%	0.8%	96.2%	91.6%
1,000～3,000万	0.1%	0.1%	0.1%	0.0%	-	0.2%	0.4%	0.6%	96.1%	92.0%
3,000～5,000万	0.2%	0.2%	0.3%	0.1%	-	0.6%	0.8%	0.9%	93.1%	88.7%
5,000万～1億	0.9%	1.2%	0.6%	0.6%	-	0.3%	1.0%	0.9%	89.8%	84.4%
1～3億	0.8%	1.1%	2.8%	1.1%	-	1.3%	5.2%	3.5%	74.0%	74.9%
3～5億	2.0%	2.1%	2.0%	2.1%	-	0.0%	4.1%	6.3%	77.6%	68.8%
5億円以上	3.7%	0.0%	1.9%	0.0%	-	1.5%	3.7%	0.0%	75.9%	74.2%

資料：農林業センサス個票（2015年，2020年）の組替集計。

注：2015年の「農業生産関連事業売上なし」は、「農業生産関連事業を行っていない」と「売上金額なし」の合計値である。

- 全体では農協，卸売市場，消費者への直接販売が主
- 大規模層（1億円以上層）では，上記以外にも出荷先が分散

第8-15表 農産物の出荷先（施設野菜販売1位）

	全 体（複数回答）													
	農 協		農協以外の 集出荷団体		卸売市場		小売業者		食品製造業・ 外食産業		消費者への 直接販売		その他	
	2015年	2020年	2015年	2020年	2015年	2020年	2015年	2020年	2015年	2020年	2015年	2020年	2015年	2020年
50万円未満	60.8%	55.8%	8.5%	9.1%	18.9%	16.0%	6.0%	7.0%	1.4%	2.4%	28.6%	32.9%	4.7%	6.3%
50～100万	67.2%	65.2%	9.4%	10.5%	21.8%	19.8%	6.7%	8.7%	1.9%	2.8%	28.0%	28.9%	4.1%	4.3%
100～300万	72.8%	70.4%	9.3%	10.5%	25.9%	24.3%	7.9%	9.7%	2.3%	3.5%	26.2%	29.3%	4.1%	4.4%
300～500万	75.9%	74.4%	10.0%	11.0%	28.5%	26.7%	8.3%	9.2%	2.5%	3.2%	25.3%	26.7%	4.2%	3.6%
500～1,000万	78.7%	77.6%	11.5%	11.9%	28.8%	26.5%	8.5%	9.6%	2.7%	3.7%	23.0%	25.7%	3.7%	3.4%
1,000～3,000万	82.4%	81.9%	13.3%	13.7%	27.2%	25.3%	9.9%	10.7%	3.5%	4.5%	20.8%	21.5%	3.4%	3.2%
3,000～5,000万	78.7%	79.7%	19.3%	19.7%	26.0%	24.2%	14.7%	16.4%	7.5%	9.5%	21.2%	24.4%	4.4%	3.1%
5,000万～1億	67.0%	70.4%	25.3%	25.1%	29.4%	30.4%	22.4%	22.1%	12.9%	14.4%	20.6%	25.9%	4.8%	4.4%
1～3億	47.6%	54.3%	26.4%	29.1%	44.8%	43.9%	45.6%	42.2%	36.4%	29.9%	29.6%	35.8%	10.8%	8.0%
3～5億	34.7%	39.6%	16.3%	37.5%	65.3%	56.3%	65.3%	64.6%	49.0%	54.2%	20.4%	33.3%	8.2%	16.7%
5億円以上	13.0%	24.2%	9.3%	15.2%	59.3%	66.7%	70.4%	74.2%	42.6%	59.1%	16.7%	21.2%	20.4%	16.7%

第8－15表 農産物の出荷先（施設野菜販売1位）（つづき）

	売上1位の出荷先													
	農 協		農協以外の 集出荷団体		卸売市場		小売業者		食品製造業・ 外食産業		消費者への 直接販売		その他	
	2015年	2020年	2015年	2020年	2015年	2020年	2015年	2020年	2015年	2020年	2015年	2020年	2015年	2020年
50万円未満	54.1%	49.5%	5.8%	7.0%	15.0%	13.1%	3.2%	4.3%	0.6%	0.8%	19.0%	22.0%	2.2%	3.2%
50～100万	57.4%	56.1%	5.5%	6.4%	16.7%	15.0%	3.1%	4.1%	0.5%	0.6%	15.8%	16.1%	1.0%	1.8%
100～300万	61.5%	59.6%	5.1%	5.6%	18.2%	16.5%	2.8%	3.8%	0.4%	0.5%	11.3%	13.0%	0.6%	1.1%
300～500万	63.7%	63.4%	5.2%	5.5%	18.4%	17.6%	2.6%	3.3%	0.5%	0.4%	9.1%	9.0%	0.5%	0.8%
500～1,000万	67.7%	66.9%	5.5%	6.1%	17.1%	15.5%	2.3%	2.8%	0.4%	0.5%	6.5%	7.5%	0.5%	0.7%
1,000～3,000万	72.8%	72.6%	6.6%	6.7%	13.2%	12.0%	2.3%	2.8%	0.6%	0.6%	4.1%	4.6%	0.4%	0.7%
3,000～5,000万	70.5%	70.3%	10.1%	9.1%	9.9%	10.0%	3.8%	4.5%	1.2%	1.3%	3.8%	4.1%	0.7%	0.6%
5,000万～1億	57.6%	58.5%	14.4%	14.0%	12.3%	13.1%	8.3%	6.9%	2.6%	2.3%	3.8%	4.2%	1.0%	1.0%
1～3億	31.6%	38.5%	14.0%	15.2%	16.0%	16.0%	18.0%	15.0%	10.8%	6.7%	5.2%	5.3%	4.4%	3.2%
3～5億	12.2%	20.8%	12.2%	25.0%	26.5%	10.4%	40.8%	27.1%	4.1%	8.3%	0.0%	0.0%	4.1%	8.3%
5億円以上	7.4%	13.6%	1.9%	9.1%	20.4%	16.7%	38.9%	43.9%	14.8%	4.5%	3.7%	0.0%	13.0%	12.1%

資料：農林業センサス個票（2015年，2020年）の組替集計。

注．2020年の割合が2015年に比べ10ポイント以上上昇又は低下したものに網掛けした。

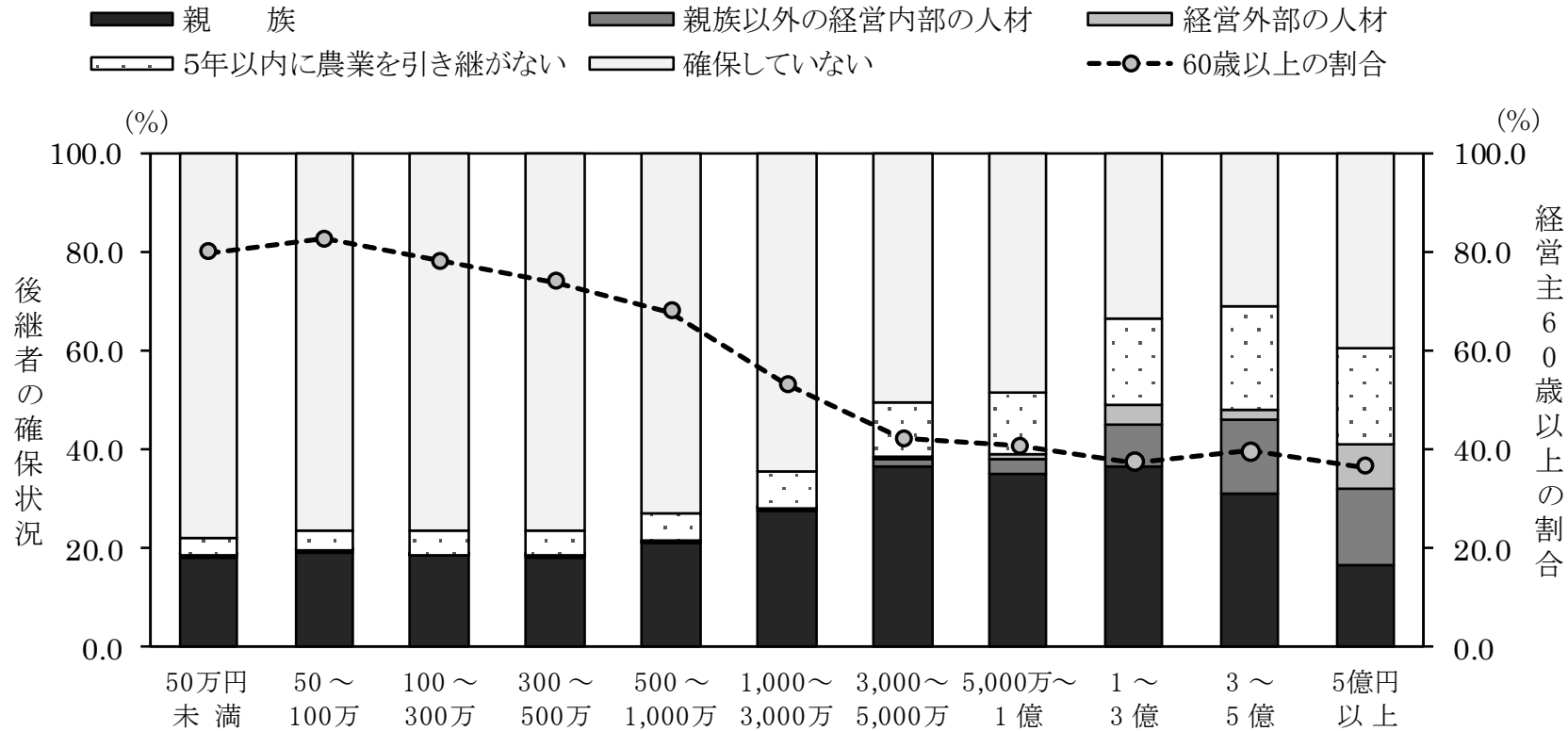
- 全体：農協出荷が主
次いで卸売市場
- 規模別
 - ・300万円未満：上記＋
消費者への直接販売
 - ・300万～1億円：農協，
卸売市場
 - ・1億円以上：
各出荷先に分散，ただし
食品製造業・外食産業，
消費者に直接販売は
1割を下回る

後継者の確保状況

●後継者の確保状況

- ・経営主60歳以上の割合は3000万円以上でほぼ5割を下回る
- ・後継者を確保していない：3000万～1億円未満の半分程度
1億円以上の3割程度

※品目別の作付で高いシェアを占めていた300万～3,000万円未満の層では、7割以上が後継者を確保できていない



第8-8図 経営主60歳以上の割合と経営者の確保状況（施設野菜販売1位）

資料：2020年農林業センサス個票の組替集計。

露地野菜

- ・ 2015年～2020年に小規模層が大幅に減少しているものの、作付面積はほぼ維持
- ・ はくさい，キャベツ，レタスといった葉茎菜類を中心として，一部の経営で規模拡大が進展し，大規模層における作付面積シェアが高まっていることが推察される
- ・ 担い手は個人経営体が大半であるものの，高販売額層では雇用を導入した団体経営体のシェアがわずかに高まっている

施設野菜

- ・ 縮小傾向の継続
- ・ 担い手の中心である中規模層の減少，作付面積，施設利用実面積も併進的に減少
←→農地流動化や施設面での規模拡大が容易ではないこと等が影響
- ・ 一部大規模な経営は形成されているものの，品目別にも作付の中心は中規模層にとどまる
- ・ 担い手は個人経営体が大半であり，とりわけ中規模層における後継者の確保が課題となる

- ・香月敏孝（1997）「園芸作の展開と上層農家—1995年農業センサス分析—」『農業総合研究』51（4）：1-56.
- ・香月敏孝（2005a）「園芸作を中心とした農業経営組織の動向—農業労働投下規模区分による接近」『野菜作農業の展開過程—産地形成から再編へ—』農山漁村文化協会：123-155.
- ・香月敏孝（2005b）「野菜作の展開と生産構造」『野菜作農業の展開過程—産地形成から再編へ—』農山漁村文化協会：157-181.
- ・澤田守（2022）「農業労働力の減少と担い手の動向」『農業問題研究学会2022年度春季大会報告予稿集』
- ・農畜産業振興機構（2021）『野菜価格安定制度と野菜産地の進展～野菜価格安定制度創設から半世紀を経て～』農林統計出版.